

Ram Air Intake System

ラムエアインテークシステムNo. KHA1 V5 900

取付・取扱説明書

AutoExe
A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒135-0051 東京都江東区枝川2-15-8
TEL 03-6458-7251 FAX 03-6458-7261

この度は、オートエクゼ ラムエアインテークシステムをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車両に組み付ける前に行う作業、組み付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付の際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

適合車種: CX-60 (3CA-KH3R3P) XD-HYBRID 全車

※製品ご装着前に必ず弊社ウェブサイトにて適合車種、グレード(最新情報)をご確認ください。



警告

- 本書に記載する説明にしたがって装着を行ってください。本書に記載する以外で、当製品の取付け上やむを得ない場合を除き製品の加工・改造・分解および、車両の改造は絶対行わないでください。
- 当製品の通常の取付けに関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、作業の方は自動車整備を専門に3年以上経験をされている方、または当該経験者の監督下で作業が可能なる方を原則とします。
- 純正部品の取外し・取付け作業は、マツダ株式会社発行の整備書を参考に作業を行ってください。
- 作業中に車が動き出さないように平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停車させてください。また、エンジンが完全に冷えてから作業を行ってください。
- 適合車種欄に記載する車両以外には絶対に取付けをしないでください。
- 製品は、原則としてクレームには応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、車体に改造が施されていたり、純正ではない部品が取付けられていたりした場合、または日常点検を怠ったために発生した事故などについては、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品は遮熱効果を最大限発揮させるため、カーボンケースとボンネットのクリアランスが最小限となる様、設計されており、車両の個体差によっては、カーボンケースとボンネットが干渉する場合があります。もし干渉が発生する場合は、ボンネットの高さ調整などを行ってください。

PARTS LIST



カーボンケース



エアフィルター



ファンネルアダプター



エアフローアダプター



変換プレート



ステーA



ステーB



ビスAx2 (M6-15)



ビスBx4 (M6-20)



ビスCx2 (M4-12)



ビスD (M4-8)x2



スペーサーx2



ゴムブッシュ



クッションテープ



7. ビスDx2を使用して、エアフローアダプターに変換プレートを取付けます。



10. エアフィルター ASSYとエアフローアダプターをカーボンケースを挟み込むようにビス Bx4で固定します。



13. カーボンケースの形に添ってステー A をビス Ax1 を使用して取付けます。ステーは出来るだけ下げて取付けて下さい。



16. 車体にフレッシュエアガイドを回転させつつゴムブッシュとエアホースを挿しながらカーボンケースを配置します。



8. エアフローアダプターにスペーサーを挟み、ビスCx2でエアフローセンサーを取付けます。



11. カーボンケースに取外したゴムブッシュを取付けます。



14. カーボンケースにビス Ax1 を使用してステー B を取付けます。



17. フレッシュエアダクトを取外したボルトで固定します。



9. ファンネルアダプターにエアフィルターを取付け、バンドで締めつけ固定します。



12. ステー A に付属のゴムブッシュを取付けます。



15. 取外したフレッシュエアガイドをカーボンケースに仮付けします。



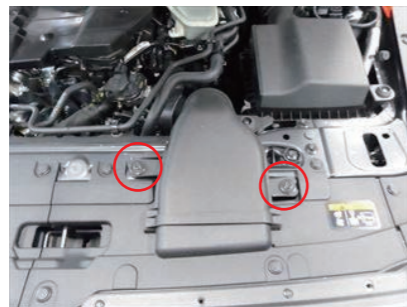
18. エンジンカバーを戻します。エンジンカバーと干渉する場合クッションテープを貼ってください。

装着手順

注)ボルト及びナットは緩み防止のため、必ずネジロック剤等を塗付して取付けてください。



1. エンジンカバーを外します。



2.フレッシュエアダクトを固定しているボルトを取外します。



3.エアフローセンサーコネクタとエアフローセンサーの配線留めを外します。エアホースクランプを緩めます。



4. エアークリーナーカバーからエアホースを外し、エアークリーナーASSYを取外します。



5.アークリーナーカバーからエアフロセンサーを取外します。



6. エアークリーナーケースからフレッシュエアダクトとゴムブッシュ2箇所を取外します。

18. エンジンカバーを戻します。エンジンカバーと干渉する場合クッションテープを貼ってください。